

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣 良次

2025. 1
No.377

明けましておめでとございます

今年は巳年です。キーワードは「金運」とされ、知恵と変革の運気を呼び込む縁起の良い年とされています。また、脱皮するへびの習性から変化や成長の象徴ともされ、人生の新たなステージへの移行を意味するとも言われています。(G o o g l e 検索より)

変革の年と言われる巳年に、鈴木社長が舵を取る鈴木丸は出航しました。まさに新たなスタートにふさわしいタイミングとなりました。

- ・金運
- ・知恵と変革
- ・変化や成長
- ・人生の新たなステージへの移行

イナテックにとつても、今変えなくていつ変えるんだ、という変化を起こす絶好のチャンスです。

かつて、白物家電やテレビの生産において日本が世界のシェアを牛耳っていた時代がありました。しかし今では、中国や韓国にとつて代わられています。自動車産業もEV(電気自動車)によって中国にシェアを奪われようとしています。

そんな中国と自動車分野で戦うのか、イナテックは大きな岐路に立たされています。イナテックの柱である自動車部品の生産を死守しながら、中国と戦わなくてよい商品群のマーケットに参入し生き残っていくしかないと考えております。

まさしく、へび年のキーワード「知恵と変革」「変化と成長」「人生の新たなステージへの移行」がピッタリなのです。

「金運」を味方にしながら、明るく元気に頑張ります。

苦難

(稲盛和夫『考え方』より)

困難や逆境というものを
ネガティブにとらえ、

悲嘆に暮れるのではなく、
志をより堅固にしてくれる

格好の機会ととらえて
敢然と立ち向かうことが大切です。

イナテックにおいても、常に問題という
「山」に立ち向かわねばなりません。ビジネスの世界では当たり前ですが、「山」に立ち向かうことは自分を振り返る絶好のチャンスであり、志(自分の目指している方向)が良いか否かを確認できるのです。

最近では、宇宙開発部品や国防のための部品等の引き合いも来 있습니다。このことも、本当にイナテックが世の中の幸せのために役立つのか、地球環境のためになるのかをチェックし考えるチャンスです。

我々の技術が世の中の役に立つのなら、その喜びは計り知れません。家電業界のようになりつつある自動車業界から、他業界への参入を目指すうえで、相手に不足はありません。

さあ、皆で力を合わせ、スピードを上げ、ニュービジネスを獲得しようではありませんか。

艱難辛苦を耐えて、人は成長する

(稲盛和夫『考え方』より)

苦勞もせずに人生を過ごしてきたなら、人間性を高めることなどできず、会社をつくってからも、部下の信望や信頼を集めることはできなかったでしょう。子供の頃から苦勞を重ねてきたことによって、少しでも人間が練られ、私という人間がつくられていったから、経営者として務まったのかもしれません。

逆境に置かれながらも、むしろ与えられた逆境を天に感謝するかのようないきで健気に生きていく。そのように生きてきた人は、その経験が必ず、後々の素晴らしい幸運につながっていくと私は信じています。

コロナ不況がやってきて、SDGsやカーボンニュートラルの時代になり、EV化の流れが止まらない中、これらに真剣に立ち向かっていけば必ず新しい技術が身に付き、その技術が世の中に役立つのだらうと思います。

これからの日本は、少子高齢化が進み、現在の出生者数から見ても、生産人口が減少することは分かっています。そして海外からの労働者が増え、それによって必ず問題が起きます。現に欧米では、移民問題が喫緊の課題になっており、そうした状況が日本でも起りうるのです。

そんな状況の中、これからの日本はどうすれば良いのか、その答えは『生成AI』を搭載したロボットの活用しかないと思っています。つまり「学習するロボット」「精度の高いロボット」「力強いロボット」「人間と共存できるロボット」等々の活用です。

イナテックとしては、まずロボットを作る「工作機械の部品」や「ロボットの内臓部のギヤ部品」といった分野への挑戦をします。

また、『生成AI』をつくり出す「半導体部品」への挑戦も考えています。そして、必ずやってくるカーボンニュートラルの世界に向けて、水素関連事業の部品も視野に入れながら生き残りをかけて戦います。

イナテックグループの皆さんも、これまで培ってきた自動車部品加工技術を生かし、柔軟な発想でついてきてください。自動車部品を生産する技術はあっても、他業界となればそれなりの難しさは必ずついて回ります。今までの既成概念を「白紙」にして、お客様の要求を真摯に受け止め、新たな分野を開拓していきたいと考えています。

この2025年が、皆様にとつて心身ともに良い年となりますよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

菜根譚後集 一〇八

怨因德彰。故使人德我、不若德怨之兩忘。仇因恩立。故使人知恩、不若恩仇之俱泯。

怨みは、一方に恩恵を施すことにより他方に現われるものである。だから人に恩恵を感じさせようとするよりは、恩恵も怨みも両方とも忘れさせる方がましである。また、仇は、一方に恩恵を施すことにより他方に現われるものである。だから人に恩恵を感じさせようとするよりは、恩恵も仇も両方とも消え去るようにする方がましである。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣良次

2025. 2
No.378

感謝

〔稲盛和夫『考え方』より〕

どんな境遇にあらうとも、

愚痴や不平不満を漏らさず、

常に生きていること、

いや、生かされていることに感謝する。

そのようにして幸せを感じる心を

養うことによって、

人生を豊かで潤いのある

素晴らしいものに

変えていくことができるのです。

愚痴や不平不満は、結局は自分自身に返
ってきて、自分自身をさらに悪い境遇へと
追いやってしまうものです。ですから、ど
んな境遇にあらうとも、感謝の心というも
のを忘れてはならないと私は思います。

我々は、どんな愚痴や不満があつても、生

きていることや周りの人の力によって生かさ
れていることに、感謝することが大切です。

我々は生きていかなければいけない運命に

あります。逃げるのは簡単ですが、この生か

されている人生を、豊かで潤いのある素晴ら

しいものに変えていくべきだと私は考えます。

思いやりのある言葉をかけることや些細

なことでも感謝の気持ちを伝えることで、周

囲の人を幸せに出来ます。

感謝とは、自分自身も相手も優しい気持

ちに出来る薬のようなものだと思います。

反省

〔稲盛和夫『考え方』より〕

自分の心の庭を耕し、毎日の反省をする
ことによって、雑草つまり自分の邪よこしまな思
いを取り除き、そこに新たに素晴らしい思
いを植えるようにしていかなければなり
ません。つまり、邪な心を反省し、善よき思
いを心のなかに育てていきます。

何も手入れをしないでそのまま放つて

おけば、人間の心は必ず利己的で強欲なも
のに満ち満ちてしまいます。そこで、「反
省」ということがたいへん大事になってく
るわけです。

反省をすることで自らを戒め、利己的な
思いを少しでも抑えることができれば、人
間誰もが本来持っている美しい心が、自ず
と現れてくるはずです。私もそのような自
分でありたい、少しでも立派な心でありた
いと思ひ、今も毎日、心の手入れに努めて
います。

昨年より、「朝の20分間お掃除」の中で「製造支援お掃除」を実施しています。「製造支援お掃除」では、手でタワシを持って、製造現場の床をピカピカになるよう磨いています。このお掃除は心磨きのお掃除であり、続けることによって『心の雑草を取り除き、そこに新たな素晴らしい思いを植え付ける』ことができるようになると思っています。その上で、自分の心を振り返るという反省が大変重要なのです。

この「製造支援お掃除」も、開始から一年が経とうとしていますが、これからが本番です。雑草は常に生えてきます。その雑草と戦いながら、また上手く付き合いながら、皆さんの心が磨かれ、イナテックの成長と発展に繋がることを願うものです。

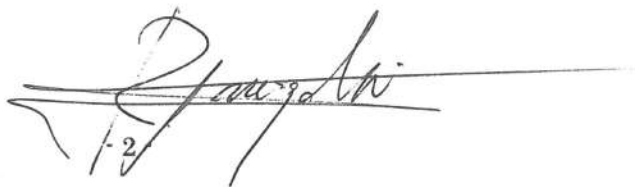
イナテック社員の皆さんも、反省を通して心の手入れをしましょう。よろしく願います。

菜根譚後集

一〇九

老來疾病、都是壯時招的。衰後罪孽、都是盛時作的。故持盈履滿、君子尤兢兢焉。

老後の病氣は、すべて若いときに摂生しなかった報いであり、下り坂になってからの災いは、すべて盛んなときに無理をした罰である。そこで君子たるものは、羽振りのよい満ち足りたときに当たって、特に恐れ慎むことを要する。



2

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣良次

2025. 3
No.379

ありがとうございます、イナテック社員の皆様

去る3月19日、北米トヨタの幹部の方々がイナテックへ来社されました。

・T M N A (トヨタ・ノースアメリカ)

上級副社長 ノーム バフンノ様

SSAリーダー ジェイピー フラハティール様

・T M M I (インディアナ工場)

品管部長 ティム ボウズ様

・T M M W V (ウエストヴァージニア工場)

部長 ボブ ウエルチ様

以上の皆様をはじめ、トヨタ自動車及びアイシンより数名の方々がお越しくださいました。

SSA(品質・性能適正化特別活動)に向けたイナテックの取組みを学ぶことが目的で、日頃この活動に尽力いただいている社員の皆さんが、トヨタやアイシンの方々へ向けて発表をしてくれました。

ディスカッションの中では、「現場の困りごと解決になっていませんか」という質問をいただき意見交換させていただいたところ、社内の取組みについて、「イナテックさんの活動は、製造からのボトムアップになっていて大変素晴らしい。それは御社のオペレーターの方々の品質意識向上につながっている」等々の感想をいただきました。

その他にも、「このSSA活動は『品質を下げる』活動になっていませんか」という辛口の厳しい質問がありました。それに対し、工場案内を担当した品質保証課の青木真奈さんは、「部品機能に影響がないか調査し、取り組むべき項目を精査している」と説明し

てくれました。アイシンの調達生準品質部長からは、「すべての事を理解したうえででの発表や案内は、アイシンの男性課長職でもできない」とのコメントをいただきました。

また、ご来社いただいたお礼としてプレゼントしている『イナテックドリンク』を、女性スタッフ数名からお渡ししました。その際、流暢な英語での説明をしたことで、大変喜んでいらっしゃる様子が伺え私も嬉しく思いました。

最後に北米トヨタの副社長からは「イナテックカンパニー、Good Job!」と声を掛けていただき、皆さんの素晴らしいおもてなしを非常に誇らしく感じております。

最後まで好印象を持っていただけたことは、品質保証課のスタッフをはじめ、日頃品質向上に取り組んでいただいている皆様のおかげと、感謝申し上げます。

イナテック社員の皆さん、
「Good Job!」

克己

(稲盛和夫『考え方』より)

少しも威張ったところがなく、常に謙虚でいられる人。

同時に、自分のことは横に置いて、いつでも世のため人のためを考え、行動できる人。

そのような自らの欲望や虚栄を

抑えることができる

克己心の持ち主こそが、

人格者だと私は考えています。

これは稲盛氏の著書『「成功」と「失敗」の法則』にある『人間として正しいかどうか』についてつなぐるものと思っています。

一、嘘をついてはいけない

二、人に迷惑をかけてはいけない

三、正直であれ

四、欲張つてはならない

五、自分のことばかりを考えてはならない

この分かりやすい表現を参考に、自分自身を振り返ってみてください。

試験への対処によって

成功と没落が決まる

(稲盛和夫『考え方』より)

神様は恵まれた条件を与えることによ

って、人がどういふふうに変化していくか

を試しておられるのではないかと思うほ

どです。その試験に対する処し方が良けれ

ば、善い結果が生まれ、悪ければ、悪い結

果が生まれます。

私たちは、常におごらず、謙虚さを忘れ

ず、真面目に、誠実に生きることが大切だと思

います。

しかし、「謙虚さ」とは、消極的で控えめ

とか、お客様の言いなりになるなどの「付度」

とは違うということを忘れないで下さい。

菜根譚後集

一一〇

市私恩、不如扶公議。結新知、不如敦舊好。立榮名、不如種隱德。尚奇節、不如謹庸行。

個人的な私恩を売るよりは、天下の正論に味方した方がよい。新しい友人を求めるよりは、古い友人とのよしみをあたためた方がよい。はでな名を立てるよりは、かげで陰徳を施しておく方がよい。奇特な節義を尊ぶよりは、日常の行ないを慎む方がよい。

イナテック社員の皆様は、本当に真面目な方たちばかりです。しかし、もつと自我(良い面)を出して欲しいと感じる場面があります。自分たちの考えをアピール(披露)することで、「自らの考え方」をチェックできるので

特に、『価値観』が目まぐるしく変化する世の中ですので、本当に正しいことは何か、科学的、哲学的、道徳的に、倫理的思考回路で考える力が必要です。そしてそれを、匿名ではなく堂々と述べ、「自らの考え方」をチェックすることが大切だと考えます。それらを実践すれば、変化の激しい時代でも、イナテックグループは必ず生き残ることが出来るかと確信しております。よろしくお願いいたします。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣良次

2025. 4
No.380

イナテック 代表取締役会長 就任

今年度、2025年1月1日からイナテック会長に就任しました。まさしく『会長職一年生』です。もう4ヶ月が過ぎようとしています。

かつて私が60才くらいの頃、先輩から言われたことがあります。「良次、お前は邦松社長が何才の時に前（良次）を社長にしたか覚えてるか」と問われたことをいつも思い出します。

それは何故かというと、社長の最大の仕事は後継者を育てることにある」と言われ

たのです。私が社長になったのは38才の時、父 邦松社長が60才の時でした。

交代前は、勤務中でも帰宅（同居）してからも、会社のことについて激論を闘わせ、常に親子喧嘩状態の日々でした。そんなある日、私は邦松社長に、「二頭政治はまずい。俺に社長をやらせてください。」と言いました。その時、「やれるものならやってみろ！」という邦松社長の一言で、私の社長業一年生が出発しました。

先輩が伝えたかった事

社長就任後、ある先輩から次のようなことを言われました。

「当時、邦松社長はわざと良次専務を怒らせ発奮させて、自分から『社長をやらせてくれ』と言わせたんだ。それまではじーっと我慢し、良次専務を育てたんだ。」

お前（良次）が、60才までに社長交代が出来なかったら、邦松さんの勝ちだ。それはつまり、経営者としては邦松さんの前に出られず、お前が負けたことになる。」

この言葉を常に思い出している次第です。

社長交代

鈴木俊守社長に交代したのは、私が満72才の時でした。邦松さんが社長職を譲ってくれた60才より12年遅れでした。

私は色々と言いつつ訳を言いました。リーマンショック、コロナ禍、EV化など、様々な理屈をこねては後継者の育成ができなかったことを世の中のせいにしてきました。

社長交代した今は、鈴木社長をどのように盛り上げ、イナテックグループを発展させることができるか考えています。

出しゃばらず

新社長の意見を聞き

時には大局から少し助言をする

新社長に頼まれれば陰ながら応援する

これもある先輩からの言葉ですが、「毎日

会社に出社して、30分でもいいから現場の皆

さんに声をかけ、『片目をつむって』あげるこ

とが大切だ」というアドバイスをいただきました

た。

つまり、言いたいことがあってもできるだけ

『片目をつむって』我慢し続けることや、鈴木

社長が動きやすくなるようにすることが私

の役割ではないかと考えている “会長一年

生”です。

責任は私が取る

鈴木社長に伝えたのは、「最後は “代表取締役会長” である私が全責任を負いますから、鈴木社長は身体を大切に頑張つて下さい」ということです。

私は新米会長ですが、これからもイナテックグループ全体をやりがいのある、生きがいのある楽しい会社にして、グループ社員の方々、社員の家族の方々が幸福になるよう頑張ります。

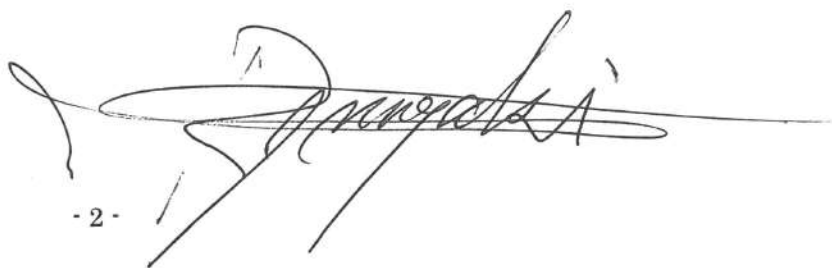
去る4月13日、大阪万博のオープニングに参加し、6時間歩いてパビリオンも見ることができました。若い人にはかありませんが、この身体もまだまだ使えそうです。皆さんを応援すると同時に、私も身体に気をつけながら頑張りますので “会長一年生” をよろしく願います。

菜根譚後集

一一一

公平正論、不可犯手。一犯則貽羞萬世。權門私賈、不可着脚。一着則點汚終身。

公平無私な意見や道理の正しい議論に対しては、さからってはならない。さからったが最後、恥を末代にまで残す結果となる。また権勢の盛んな屋敷や私利私欲の者どものたまり場に対しては、足をふみ入れてはならない。足をふみ入れたが最後、一生涯の汚れになる。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣 良次

2025. 5
No.381

お陰様で

―運の強い幸せな自分―

現在は大変元気になりましたが、去る2月18日、出張で東京へ向かう途中、名古屋駅の待合室で「どうも言葉が出てこない、よくつまずく、スマホの操作がいつも通りにできない…」などの症状が出てきました。同行していた(妻)美奈子さんも「様子が変だ」と気づき、かかりつけの大病院へ連絡し、急遽タクシーで向かいました。到着した時にはすでに病院も準備をしてくださっていて、すぐに検査し、その日のうちに頭から血液を抜く手術を受け、一命を取り留めました。

その病名は『慢性硬膜下血腫』というものでした。実は、前日にその病院で検査を受けていましたが、教授は「まだ大丈夫だから一週間後に手術日を決めましょう」という程度の診断でした。

手術は無事に終了し、火曜日に緊急入院をしてその週の金曜日には退院することが出来たことは私の運の良さだったように思います。

また、美奈子さんの決断や、病院の先生方のチームワークのおかげで一命を取り留めることが出来たと思っております。今健康でいられることに感謝申し上げます。

生活習慣の変化

術後の生活については、毎日飲んでいたアルコールも家ではほとんど飲まなくなりました。お付き合いの席では、相手の方に失礼のない範囲の程よいペースで楽しませていただいています。

少し気になるのは、食事が非常においしく食べすぎの傾向があり、体重管理が確立できていないことでしょうか。

しかし、よく眠れることや目覚めがとても良いことなど、飲酒の習慣を変えることで発見(大袈裟ですが)できたこともあり、非常に喜ばしいことと感謝いたしております。

皆さんにおかれましても、タバコや飲酒、睡眠等々、幾分留意されることを願っております。イナテックグループの方々のご健康をお祈りいたします。

イナテック版 私の履歴書

今回のNo. 381からNo. 400まで、イナテック版『私の履歴書』と題して、生まれてから今日に至るまでのお話をさせていただきます。稲垣鉄工所、稲垣鉄工、イナテックと変遷を続けた中で、皆様に伝えておきたいことを書き残そうと思います(私の記憶を辿って書いた文章ですので、時期や数字についてはイメーজとして読んでいただければ幸いです)。

誕生から小学生まで

私は1952年(昭和27年)11月1

日生まれです。近所の産婆さんの協力のおかげで、自宅の仏間で生まれました。昔は「長男」が家を継ぐという社会的慣習があり、私の父であるイナテックの創業者、稲垣邦松氏にとって長男の誕生は最大の願いだっただけです。

邦松氏は、中畑町の本家では三男という立場で、いずれ稲垣家を出て独立することが使命でした。邦松氏の両親はガラ紡と呼ばれる紡績機を利用した事業を営んでおり、長男の正雄氏は平坂町で、次男の伊助氏は中畑町でその家業を継ぎました。

三男の邦松氏は相撲が得意でした。西尾地区の相撲大会で優勝を重ね、小遣い稼ぎをしていたそうです。ある時、地元で相撲巡業が開催され、意気揚々とプロの力士と相撲を取ったところ、簡単に倒されてしまいました。惨敗を喫してからは相撲で生計を立てることを諦め、兵隊に志願して職業軍人を目指しました。

第二次世界大戦も終盤の頃でしたので、日本国内での訓練のみで実際に戦地に行くことはなかったようです。

終戦後、邦松氏は当時の松川鉄工所(現メイトックス)に就職して切削技術を学びました。修行の傍ら、ピストルや刃などを作つて腕を磨くなど、昔からいたずらが大好きでやんちゃなところがあつたそうです。

その後、昭和25年頃独立し、名古屋まで中古の旋盤とボール盤を買いに行き、自らリヤカー(自転車)を引いて平坂の住居まで運びました。独立当初の仕事は、松川鉄工所からの請負や川本ポンプの穴あけ等の賃加工でした。

その頃、「石川みよ」さんと結婚し、私が生まれました。初節句には大きな5連の「こいのぼり」をなびかせていたそうです。

生まれてから私は、隣の家(兄 正雄さん宅)に預けられ、いとこのお兄さんたちに遊んでもらっていました。それと同時に住み込みの工員さんが5人くらいいましたので、

その工員さんたちにも遊んでいた記憶があります。

なにせ邦松氏とみよさんは朝早くから夜遅くまで切削加工をし、私と住み込みの工員さんたちを食べさせねばならなかったのです。その頃の世の中は、皆が貧しかったけれども元気があつたように思います。塩や醤油の貸し借りをしたり、近所の人たちが風呂に入り来たり、お湯を沸かすために協力して廃材を燃やすなど、助け合う温かさもありました。

食事は質素なものでした。朝食は邦松氏が生卵1個、そして母と私、妹、弟は1個の生卵を箸で四等分にして、しょう油卵ごはんを食べていました。また小遣いなどというものはもつたことがなく、隣の三河屋さんというせんべい屋さんの焼いたカス(バリ)を拾って食べて育ちました。そんな食事でもこんなに立派に育つものなのです。

私は工場の現場が遊び場でしたので、ケガをすると大変だということで犬ころのように紐で柱につながれていました。常に工場で過ごし、油や機械のにおいの中で育った私は、跡を継ぐことは当たり前のことのように考えていました。邦松氏は、出掛ける時にはいつも私を連れていってくれました。そのおかげで後継ぎとしてデビューできたのだと思っております。この時に、どこに行っても黙っていい子ぶることを覚えたのかもしれませんが。消極的で引込み思案ではありますが、わがままを言わずみんなの後について遊ぶことが出来るようになりました。

それから、名前の「良次」についてですが、当時映画スターの池部良が人気で、そこから「良」という字を取ったそうです。私は長男ですから、一般的に考えれば「良一」とか「良治（良く治める）」が普通だと思いますが、「良次」になりました。読み仮名は「ヨシツグ」ではなく「リョウジ」になりましたが、父母の願いは「良くつぐ」という意味だそうです。

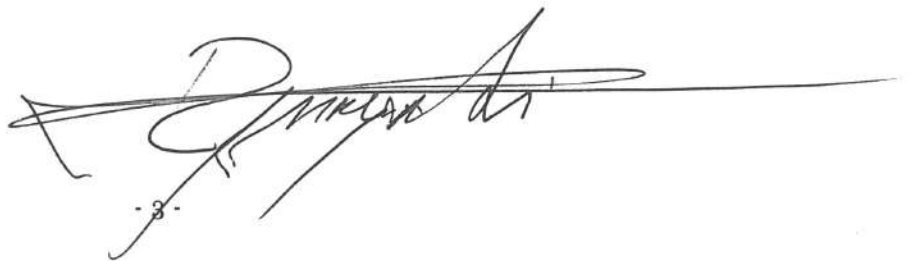
ああ、ありがたやありがたや。

菜根譚後集

一一三

曲意而使人喜、不若直躬而使人忌。無善而致人譽、不若無惡而致人毀。

自己の信念をまげてまでして人を喜ばせるよりは、自身の行ないを正しくして、人に嫌われる方がましである。自分の行ないによいこともないのに人に褒められるよりは、身に悪いことをした覚えがなくて、人にそしられる方がましである。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣 良次

2025. 6
No.382

イナテック版 私の履歴書 No. 2

小学校に入学した頃（1959年）、伊勢湾台風の被害に遭いました。私の記憶も不確かですが、当時は平坂町の中でも特に低い土地に家と工場があったため、1階部分は全て浸水しました。仏壇は浮き、たんすも風呂も便所も浸水し、海水が2階まで迫る勢いでした。私は小学一年生ながら、一所懸命2階へ逃げ、気持ちだけでも落ち着かせようとしたことを覚えています。

翌日から父母は、泥だらけになった畳などを洗い、乾かす作業をしていました。機械もすべて水に浸かってしまったため、父はまず電

気系統を水洗いし、町の電気工事屋さんに修理を頼み込んでいました。「なんとかしないと食っていけない」との危機感から、父は必死の様子でした。災害直後はこの電気屋さんも修理の依頼で引張りだこで、稲垣鉄工所のような小さな会社は相手にしてもらえませんでした。

その中で唯一、西三電気の松本社長さんが力を貸してくださいました。おかげで機械も直り、無事に復旧できました。その西三電気さんは、現在息子さんが後を継がれ、今もイナテックとお付き合いが続いております。親子二代に渡りお世話になり、本当に感謝申し上げます。

それから、この被災時に大変お世話になった方がもう一人いらっしゃいます。

当時、岡崎信用金庫の平坂支店長であった田中様です。田中様は、稲垣邦松を信じてくださり、男気溢れるご配慮で特別に融資してくださいました。そのおかげで稲垣鉄工所は助かり、現在のイナテックがあるのだと、邦松氏は後年語り続けていました。

さらにもう一つ、復旧を支えていただいたエピソードがあります。

小田井鉄工（現オティックス）さんのお取引計らいで、当時トヨタ自動車の常務であった根本様が、被災した当社を見舞ってくださいました。その際に『いい仕事をしている』と大変嬉しいご評価をいただいたことが励みとなり、それが復旧の原動力になったと邦松氏は繰り返し語っていました。

皆様の温かいお心遣いに、深く感謝申し上げます。

習い事

御多分に洩れず、習字、そろばんを習いました。特に習字については、母（みよさん）も教わっていた、チョボひげ先生に丁寧に教えていただきました。やはり日本人である以上、正しい日本語が書けることは大切です。習字を学ぶと自然に書き順が覚えられますし、

“入り”や“止め”など、漢字ならではの素晴らしさを知ることが出来ます。

最近また「写経」を始めました。写経は筆の運びやバランスなどを思い出させてくれる素晴らしいシステムだと思います。これはぜひ皆さんにお勧めしたいです。写経をしていると、頭がカラッポになり、時間があつという間に過ぎていきます。そして、少しずつではありますが、筆書きの技術が身についていくのを実感できます。私は写経をこれからのライフワークにしたいと思っております。

絵画教室

小学校の高学年になった頃、家の近所で絵画教室が開かれていました。そこに通うことはまったく苦痛ではなく、楽しい思い出として心に残っています。

最初に先生から教わったのは、「いいか良次、絵は『影』で表すことができる。また『影』で出来ているんだ。分かるか？」という言葉でした。小学生の私には分かるはずありません

でしたが、ひたすら炭コンテのデッサンばかりしていました。しかし、よくよく被写体を見ると、影が見えてくるのです。影を表現すると、魅力的なデッサンが描けるようになると学びました。

皆さんも色をなくした状態で物体を思い浮かべてください。影があるから、人間は立体的に見えるのだと気づくはず。輪郭も実は影なのです。

そのような体験からスケッチが好きになり、花や鳥、景色はもちろん、旅行に行った際には写真ではなくスケッチし、色をつけるようになりました。長い時間じつと見ていると、カメラで撮った印象よりもずっと深く頭の中に残るものだと感じています。

これも団体旅行では難しく、旅先でフリーの時間がなければできません。最近そのような時間を作れていない自分を反省しています。

菜根譚後集

一一三

處父兄骨肉之變、宜從容、不宜激烈。遇朋友交遊之失、宜剴切、不宜優游。

親兄弟に異変がおきたときには、できるだけ落ち着いて対処するのがよく、決して感情をたかぶらせてとり乱してはならない。（これに反して）、親しい友人や仲間と過失を見つけたときには、できるだけ適切な忠告をするのがよく、決してぐずぐずして見過ごしてはならない。

剣道3年、陸上1年

“男は剣道”という考えから、一通り剣道を習いました。選手にはなれませんでした。経験はいいものです。

陸上については、私があまりにも足が遅く、徒競走の成績が思わしくなかったため、邦松氏が先生に“走り方”の特訓を頼み、陸上部に入部することになりました。習えば上達するもので、手の振り方、ひざの上げ方、蹴り出す方向等々、当時林先生に教えていただき、徒競走の選手にまでしていただいたことには大変感謝しています。“走る”にも理屈があるものと学びました。

習い事は良いものです。今こそ“子供の自由”に“という考えの親御さんはたくさんいますが、親からすすめるのもいいものです。父、母、ありがとう、すてきなプレゼントを私に与えてくれて！